

採点基準 化学

- (1) 空欄補充問題の化学用語はひらがなでも可だが、漢字の間違いは不可。
- (2) 文章で理由を述べたり説明したりする設問の場合、漢字の間違いは1点減点。
- (3) 数値の表記に関して:例えば $3.5 \times 10^{-1}$ は0.35、 $35 \times 10^{-2}$ など、指定桁を守ったうえで同値であるものはすべて可。
- (4) 計算問題の答えに関する基準

例) 問題文:・・・を有効数字2桁で答えよ。 解答解説冊子の解答例:0.32(たとえば計算結果= $0.324 \dots \div 0.32$ )

- ① 解答例通りの 0.32 に満点を与えます。
- ② 0.31、0.33 のように末尾の桁が1だけ違う場合、1点減点します。
- ③ 有効数字が1桁(指定の桁数未満)の答えは不可とします。  
有効数字3桁以上で答えている場合、その3桁目を四捨五入して解答例通りになれば、1点減点します。  
例えば、解答用紙に0.325という答えが記されている場合、0.325の3桁目を四捨五入すると0.33となるので、1点減点することになります。

ただし、0.50などとキレイに算出される設問の場合は、例外として個々の設問に応じて基準を記してあります。  
有効数字3桁で答える設問の場合も、上記と同様です。

第1問 配点 25点		
問1	3点	上記計算問題に関する基準に従う。
問2	10点	2点 (1)解答例通り。
		4点 (2)上記計算問題に関する基準に従う。「25.1」「25.2」は満点、「25.0」「25.3」は1点減点。
		2点×2 (3)上記計算問題に関する基準に従う。
問3	9点	2点 (1)解答例通り。完答。c、dの一方だけや、他の記号がある場合は0点。
		2点 (2)解答例と同様の内容であれば可。「凝固点降下度が大きくなる」というところは、「凝固点降下が進む」という表現でも可。
		2点 (3)解答例通り。
		3点 (4)解答例通り。「 $3.15 \times 10^2$ 」の表記の場合は1点減点。
問4	3点	小さい順に書いてあっても可。ただし、「>」または「<」を使わず、「,」などを使っているものは不可。≧≦は不可。

第2問 配点 25点		
問1	2点	1点×2 解答例通り。ただし、上記(1)に従う。
問2	6点	3点×2 解答例通り。3桁目に0がついている場合は1点減点。
問3	2点	1点×2 解答例通り。
問4	2点	左向きの矢印も書いているものや、矢印を等号で書いているものは不可。
問5	9点	3点×3 左向きの矢印も書いているものや、矢印を等号で書いているものは不可。
問6	4点	2点×2 解答例と同様の内容であれば可。(b)で「 $Fe^{2+}$ を酸化させるため」もしくは「 $Fe^{3+}$ にする」のみのものは1点。

構造式に関する基準:

CH間、OH間の価標を記していても可。

C-O、C=Oを省略した場合1点減点。

1つの構造式において減点対象となる箇所が複数あっても減点は1点とする。

第3問 配点 25点		
問1	2点	1点×2 解答例通り。
問2	4点	2点×2 解答例通り。
問3	9点	3点×3 上記の構造式に関する基準に従う。不斉炭素原子に「*」がついていない場合、誤った場所についている場合は1点減点。
問4	2点	解答例通り。
問5	8点	2点×4 解答例通り。

第4問 配点 25点		
問1	4点	2点×2 解答通り。ただし、上記(1)に従う。
問2	3点	1点 反応の名称: 解答例通り。「キサントプロテイン」のみは不可。
		2点 Bについて: 解答例と同様であれば可。ただし、10字を超えた場合は不可。
問3	3点	2点 構造式: 上記の構造式に関する基準に従う。不斉炭素原子「*」の有無は問わないが、誤った場所についている場合は1点減点。
		1点 名称: 解答例通り。
問4	3点	解答例通り。
問5	6点	3点×2 上記の構造式に関する基準に従う。不斉炭素原子「*」の有無は問わないが、誤った場所についている場合は1点減点。
問6	6点	3点×2 解答例通り。分子量を「 $3.492 \times 10^3$ 」と表記している場合は1点減点。